

# NEWS

Niigata University of Health and Welfare  
Teaching Career Support Center

# LETTER

## CONTENTS

1. 巻頭言：教職ボランティアに参加しよう
2. 取組紹介①「教員採用試験出願書類作成指導会」
3. 教職課程 担当教職員
4. 退職教職員
5. 取組紹介②「学校における学習ボランティア体験を語る会Vol.2」
6. お知らせ/今後の予定
7. あとがき



## 教職ボランティアに参加しよう

教職支援センター運営委員 佐藤 裕紀 (健康スポーツ学科)



私は、教職に関心のある学生の皆さんには、学校で先生方のサポートを行いながら児童生徒たちと接することができる「教職ボランティア」に、早い段階から参加することをおすすめします。

学校で活動し学習するものとして教育実習もあります。しかし、4年生となってからは、正直、遅すぎてもったいないと思います。以下では、教職ボランティアに早期に参加することをおすすめする理由を述べます。

### ① 自分の適性を知ることができる

学校に行けば、そこには一人一人異なる児童生徒がいます。彼らの喜怒哀楽に触れることとなります。また先生の指導している光景や、日々の中でのやりがいや、悩みにも触れるかもしれません。先生も人間です。授業や本では、「教員」や「児童」「生徒」として一括りにして学びますが、そこにはリアル(本物・現実)があります。

そのリアルの中で、あなた自身が感じることもあるはずですが。授業やメディアで「聞いていたことと違った」、「わかったつもりになっていたけど違った」などの揺らぎも体験するかもしれません。

教員にはそれほど興味はなかったけれど、学校で児童生徒たちと接する中で「自分って結構むいてるかも?」と思えたなら、早い段階から教員になるために必要な学習に身を入れることができます。逆に、「ちょっと自分には合わないかも」思えば、残りの大学生活を他の進路に向けて充実したものにするべきなのです。

### ② 振り返ることで授業や本での学びが深まる

自分の体験を通じた学びを振り返ることで、より主体的に知識を獲得しようとしています。「どうしてこの生徒はこういう発言をしたのだろうか」「なぜ先生はこのように指導をしたのか」といった、学校で出会う様々な何故?や時には自分の無力感や無知を痛感する中で、「もっとこういうこ

とを知りたい」といった学ぶ意欲や問題意識が高まるためです。

そうすると、大学の授業や本での学びも一層意味のあるものを感じられるでしょう。そもそも大学の授業は、様々な分野について専門的な知識を既に持っている教員が、体系的且つ最新の知見を効率的に皆さんが学習できるように設計されているはずですが。

ただ受け身で聞いているだけでは退屈かもしれませんが、自分の中で活かしたい活動の場や動機があれば、大学の授業や教員、そして本は皆さんの学びを深める機会になります。ぜひ、主体的に授業などを活用してみてください。

### ③ 何より面白いし、視野が広がる

最後に、ボランティアという誰かのために崇高な動機を持って献身しているイメージを持つかもしれませんが、実際に教職ボランティアに参加している学生の皆さんは、自分が楽しいから参加を続けているのです。

もし皆さんが、児童・生徒だったら、どんな先生に教えてもらいたいですか?皆さんはどんな先生と一緒に同僚として働きたいですか?

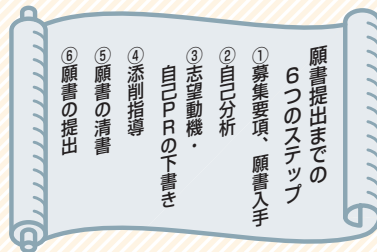
その先生には、教員採用試験に合格するための座学の勉強だけでなれるでしょうか?

教職ボランティアをはじめ、様々な機会が本学にはあります。ぜひ、積極的に活用してみてください。



## 取組紹介①「教員採用試験出願書類作成指導会」

2月24日(水)に教員採用試験出願書類作成指導会を実施し、31名の学生が参加しました。講師は森光雄先生にご担当いただきました。指導会では、「願書提出までの6つのステップ」「自己申告書・自己PRカードの記入のポイント・注意点」「新潟県(新潟市)、秋田県の出願書類を例にした書き方のコツ」等についてご指導いただきました。今回は、新型コロナウイルスの影響もありZoomを使ったオンライン形式での実施でしたが、学生は有意義に学ぶことができました。また、森先生の指導は卒業生の具体例を用いていたため、より実践的な内容となっていました。参加した学生からも非常に好評でした。いよいよ出願書類提出の時期となりました。この学びを活かして自分をアピールしていきましょう。



## 退職教職員

森 光雄 (健康スポーツ学科 教授)  
波多 幸江 (看護学科 教授)  
坪川 麻樹子 (看護学科 講師)  
野澤 紘子 (学務部教務課/教職支援センター)  
叶内 月菜 (学務部教務課)



※2021年3月付

## 教職課程 担当教職員

吉田 重和  
(健康スポーツ学科 教授/教職課程長/教職支援センター長)

森泉 哲也 (健康栄養学科 教授)  
渡辺 優奈 (健康栄養学科 助教)  
脇野 哲郎 (健康スポーツ学科 教授)  
杉崎 弘周 (健康スポーツ学科 教授)  
若月 弘久 (健康スポーツ学科 准教授) **NEW**  
久保 晃 (健康スポーツ学科 准教授) **NEW**  
佐藤 裕紀 (健康スポーツ学科 講師)  
杵淵 洋美 (健康スポーツ学科 講師)  
高田 大輔 (健康スポーツ学科 助教)  
針谷 美智子 (健康スポーツ学科 助教)  
上田 純平 (健康スポーツ学科 助教)  
丸山 幸恵 (看護学科 講師) **NEW**  
和田 直子 (看護学科 講師) **NEW**  
杉中 宏 (教職支援センター非常勤講師)  
宮川 由美子 (教職支援センター非常勤講師)  
森 光雄 (教職支援センター非常勤講師)

菅原 直実 (学務部教務課/教職支援センター) **NEW**  
田中 里枝 (学務部教務課/教職支援センター) **NEW**

※2021年4月現在

## 取組紹介②「学校における学習ボランティア体験を語る会Vol.2」

3月15日(月)3限に、「学校における学習ボランティア体験を語る会Vol.2」を実施しました。今回、参加者は32名(健康栄養学科3名、健康スポーツ学科21名、看護学科8名)と昨年度よりも大幅に参加人数が増え、「ボランティアの内容」「ボランティア体験前後の自身の変化や気づき」「成果や課題」等についてたくさん語り合いました。

ボランティアへ参加している学生は、それぞれ面白さややりがいを感じているようで自分自身の体験を積極的に語ってくれました。困っていることとしては、「児童生徒との関係性の作り方、接し方(とくに注意する場面)」「学校の先生方との連携、自分自身の立ち位置」などがあげられました。

これらについては、脇野先生より助言をいただき、参加した学生からは「今後も継続的に参加していきたい」と積極的な意見が出ていました。また、これまでボランティアに参加していない学生も「参加してみたい」という意思が生まれたようでした。

「教職ボランティアを語る会」に参加した学生のコメントを一部掲載します。



健康スポーツ学科3年生  
S.Tさん

学習指導で抱えていた悩みは、自分だけではなく他の人も共通して持っていたのだと感じることができました。また、そういった悩みの解決策は、現場で働いている先生方に実際に聞くというのが最も良く、積極的に先生方とコミュニケーションをとることが必要だと感じました。



看護学科2年生  
M.Eさん

今回学習ボランティア体験の話を通じ、大変なことや困っていることを共感することができ、自分が悩んでいたことは他の人も悩んでいたんだと感じました。また、いろいろな人から、子どもに注意するときの対応についての話を聞いて、参考になった点がいくつもあったので、教育実習に活かしていきたいと思いました。とても有意義な時間でした。



健康栄養学科1年生  
M.Tさん

私はまだ学習ボランティアをしたことがなく、どんな活動をするのか知らなかったのですが、今回の会を通して児童生徒の学習の手伝いや掲示物を作成する手伝いなど、具体的な活動を知ることができて良かったです。また、学習ボランティアをする上で、児童生徒への指導の仕方や距離感などの対応が難しいとおっしゃっていた方が多くいたので、私が今後学習ボランティアに参加する際には、その点に注意して対応したいと思いました。



健康スポーツ学科1年生  
M.Yさん

私は学習ボランティアに参加したことがなく、どういった内容なのか分からず、参加してみたい反面不安が大きかったです。しかし、今回の語る会に参加して、先輩方が参加している学習ボランティアの内容を聞くことができ、だんだんと内容が掴めて、不安が小さくなりました。これから自分自身も学習ボランティアに参加したら、先輩方の体験も参考にしていきたいと考えました。

### お知らせ/今後の予定

#### ▶教職担当教員による教員採用試験対策 学内講座

5月～7月にかけ、各種講座を開講中です。4年生を中心に積極的にご参加ください。3年生以下も歓迎します。

| 曜日                 | 時限 | 講座                    | 担当教員 | 備考                |
|--------------------|----|-----------------------|------|-------------------|
| 月                  | 4限 | 直前総合演習Ⅳ<br>(保健体育教諭向け) | 森先生  |                   |
| 火                  | 1限 | 直前総合演習Ⅰ               | 脇野先生 | この時限に参加できない場合は要相談 |
| 水                  | 1限 | 論文演習Ⅱ                 | 若月先生 |                   |
| 水                  | 3限 | 面接演習Ⅱ                 | 宮川先生 |                   |
| 木                  | 3限 | 教育課題演習Ⅱ               | 杉中先生 |                   |
| 金                  | 5限 | 直前総合演習Ⅱ<br>(栄養教諭向け)   | 森泉先生 |                   |
| 7月5日・7月12日<br>3・4限 |    | 直前総合演習Ⅲ<br>(看護教諭向け)   | 杉中先生 | 計4回実施予定           |

#### ▶学習支援センターの利用について

図書館1Fラーニング commons 学習支援センターでは一般教養の勉強について相談できます。数学・化学・物理や日本語表現、お礼状の書き方の指導も行っています。お気軽にご相談ください。

#### ▶外部業者学内模擬試験

2021年前期の模擬試験は終了しました  
2022年度向け模擬試験は後期予定(詳細はメールで案内します)

#### ▶教員採用試験関連イベント

決定次第ご連絡いたします。

#### ▶教職ボランティアについて

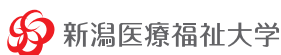
学校でのボランティアに興味のある方は、ご相談ください！ [窓口：脇野先生]



### あとがき

教職支援センターニュースレターNo.8では、教職ボランティアについて特集を組みました。新型コロナウイルスが依然として収束しない中でも、学校現場の先生方が学生を積極的に受け入れてくださっており、本当に感謝しております。また、参加している学生もこのような状況の中でも積極的に参加しており、少し明るいニュースをお届けできたのではないのでしょうか。現在、各種実習等でも制限があり、体験型の学びが行える機会が非常に少なくなっています。我々もこのような中でも学生の学びにつなげられる機会を増やしたり、学び方についての指導を工夫したりしていきたいものです。

(健康スポーツ学科 高田)



新潟医療福祉大学

教職支援センター ニュースレター  
2021年5月28日発行

発行 新潟医療福祉大学 教職支援センター運営委員会  
〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地

お問い合わせ

E-mail : kyoshoku@nuhw.ac.jp

W E B : https://www.nuhw.ac.jp/teaching\_career\_support/

Twitter : @NUHW\_kyoshoku



WEB

Twitter

新潟医療福祉大学 教職支援センター

検索